

(参考E)

Working Group(理学)

WG名称

主査

所属

戦略的に実施する中型計画WG

次期太陽観測衛星計画 SOLAR-C WG

渡邊 鉄哉

国立天文台

公募型小型計画 WG

磁気リコネクション・粒子加速 WG

成影 典之

国立天文台

小型衛星月ペネトレータ計画 APPROACH2 WG

田中 智
後藤 健

JAXA宇宙科学研究所
JAXA宇宙科学研究所

広帯域X線高感度撮像分光衛星 FORCE (旧NGHXT) WG

森 浩二

宮崎大学

衛星搭載 超伝導サブミリ波リム放射サウンドSMILES-2 WG

塩谷 雅人

京都大学

ガンマ線バーストを用いた初期宇宙探査計画 HIZ-GUNDAM WG

米徳 大輔

金沢大学

小規模プロジェクト WG

系外惑星紫外分光 WG

亀田 真吾

立教大学

ISS搭載用ガンマ線バースト偏光度検出器LEAP WG

郡司 修一

山形大学

FUJIN WG

田口 真

立教大学

K-EUSO (JEM曝露部搭載機器、国際ミッション対応) WG

戒崎 俊一

理化学研究所

小規模プロジェクト WG (戦略的海外協同計画)

ATHENA WG

松本 浩典

大阪大学

WFIRST

住 貴宏

大阪大学

装置開発 WG

生命探査顕微鏡 (LDM) WG

吉村 義隆

玉川大学

(参考E)

Research Group (理学)

RG名称	主査	所属
国際超大型観測衛星計画の検討 RG	山田 亨	JAXA宇宙科学研究所
月火星の地下空洞直接探査 RG	春山 純一	JAXA宇宙科学研究所
着陸機による火星環境探査 RG	臼井 寛裕	東京工業大学
電離圏・磁気圏探査衛星検討 RG	中村 正人	JAXA宇宙科学研究所
X線ガンマ線偏光観測 RG	林田 清	大阪大学

(参考E)

Working Group (工学)

WG名称
海外ミッションを利用した太陽系サンプルリターン探査
ハイブリッドロケットの研究 WG
展開型柔軟エアロシェルを利用した超小型惑星プローブ WG

(参考E)

要素技術研究 (Research Group) (工学)

RG名称	
観測ロケット用上段モーション・ステージ (UMS) の研究開発 RG	無電極磁気ノズルヘリコンプラズマスラスタの開発 RG
ドラッグフリー衛星への搭載を目指した超小型イオンエンジンの開発 RG	高性能科学観測にむけた高精度構造・材料の研究開発 RG
火星探査航空機の研究開発 RG	天体表面への着陸・接触・衝突システムに関する研究 RG
長時間飛行用スーパープレッシャー気球の実証 RG	100kW 級レーザーローンチシステムの成立性検討・デモンストレーターの開発 RG
先進的固体ロケットシステム技術実証 RG	宇宙機搭載の冷媒液化装置の高効率化に関わる機能モデル試作と基礎試験 RG
革新的熱制御システムの研究 RG	ブーム展開型超軽量薄膜太陽電池展開構造の研究 RG
観測ロケット・ランダー用革新的デトネーション推進機構の研究 RG	次世代ハードランダの研究開発：火星および木星衛星へのアプローチ RG
自在な着陸探査ミッションのためのCrushable 構造の研究開発 RG	金属3D プリントを用いた高機能形状記憶合金アクチュエータの開発 RG
再使用高頻度宇宙輸送システムの研究 RG	極低温推進薬の長期保存を実現する革新的熱マネジメント技術の開発 RG
革新的な衛星バス技術の研究 RG	惑星間磁場を用いた超小型宇宙探査機の姿勢制御システム RG
小惑星含む月惑星表面探査ローバに関する研究 RG	セラミック製レーザーロッドの搭載化に向けた耐放射線性評価 RG
火星探査への応用を目指した革新的パラフォイル型飛行体の研究 RG	将来の深宇宙惑星探査にむけたサンプルリターンカプセルの高性能化に関する研究開発 RG

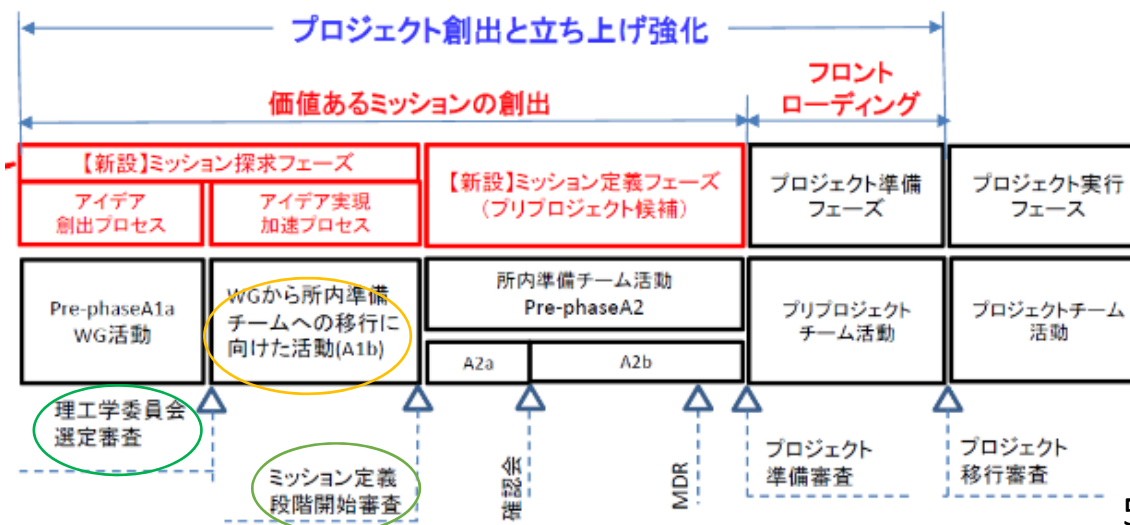
(参考E)

ミッションの立ち上げ状況

公募型小型計画3・4 候補ミッション

- 2018年1月29日締切りで提案を募集し、右表の6件を受理。
- 2018年7月：理工学委員会にて、これら提案の評価を実施し、2と6について推薦。(理工学委員会選定審査)
- 2018年7月：ISASとしても、委員会の推薦を妥当と判断し、2と6のPre-phaseA1b活動を開始。
- なお、小型赤外線位置天文衛星(JASMINE)は前回公募にて理工委員会より推薦され、国際科学審査を実施済み。現在ミッション定義段階開始審査(プリプロ候補選定審査)を受審中。

No	種別	提案名	PI機関
1	工	分散超小型プローブ展開踏査 (SPUR)	東京大学
2	理	高感度EUV/UV分光望遠鏡 (Solar-C_EUVST)	国立天文台
3	理	ペネトレータ計画 (APPROACH)	JAXA/ISAS
4	理	磁気リコネクション・粒子加速ミッション (PhoENiX)	国立天文台
5	理	全大気圏衛星観測-超伝導サブミリ波リム放射サウンダ (SMILES-2)	京都大学
6	理	ガンマ線バーストを用いた初期宇宙・極限時空探査計画 (HiZ-GUNDAM)	金沢大学



公募型小型計画

宇宙基本計画工程表「第16回宇宙開発戦略本部会議」より

- **公募型小型計画2の候補を選定**するとともに、平成34年度・同36年度の打上げを目指した**公募型小型計画3・4の公募を実施**した。
- 公募型小型計画に関して、小型月着陸実証機（SLIM）については、平成32年度の打上げを目指し開発を進めるとともに、**公募型小型計画の具体化に向けた開発研究を進める**。

- 理工学委員会の推薦を受け、宇宙研にて『DESTINY+』（深宇宙探査技術実証機）（次頁参照）を公募型小型2として選定した。開発研究及びプロジェクト化の準備を進めている。
- 公募型小型3に向けては、『小型JASMINE』（赤外線位置天文観測ミッション）に加え、平成29年秋に公募型小型3,4の公募を実施し、現在候補の選定を行っている。

